

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2015-517888

(P2015-517888A)

(43) 公表日 平成27年6月25日 (2015.6.25)

(51) Int.Cl.
A45C 13/38 (2006.01)F I
A45C 13/38テーマコード (参考)
3B045

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2015-515252 (P2015-515252)
(86) (22) 出願日 平成25年5月31日 (2013.5.31)
(85) 翻訳文提出日 平成26年12月18日 (2014.12.18)
(86) 国際出願番号 PCT/US2013/043672
(87) 国際公開番号 W02013/181573
(87) 国際公開日 平成25年12月5日 (2013.12.5)
(31) 優先権主張番号 13/486,361
(32) 優先日 平成24年6月1日 (2012.6.1)
(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 514144250
ナイキ イノベイト シーブイ
アメリカ合衆国, オレゴン州 97005
、ビーバートン, ワン パウーマン ド
ライブ
(74) 代理人 100147485
弁理士 杉村 憲司
(74) 代理人 100164448
弁理士 山口 雄輔
(74) 代理人 100175477
弁理士 高橋 林太郎

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 通気性のあるスポーツバッグ

(57) 【要約】

【課題】 通気性がよく、耐久性があり丈夫なスポーツバッグであって、バッグの内部と外部間の2方向の通気を提供するスポーツバッグを提供する。

【解決手段】 内部空間と、外装と、柔軟性のあるシート材料からなる底部と、該底部と同様の柔軟性のあるシート材料からなるリアウォール、フロントウォールおよび2枚のサイドウォールを具える中間部分であって、該中間部分の生地材料の少なくとも一部のセグメント全体にわたって複数の穿孔が設けられた中間部分と、該スポーツバッグの内部空間へのアクセスを可能にする閉口可能な開口部を具える頂部と、を具え、該頂部上に少なくとも2つのキャリーハンドルが延在している。

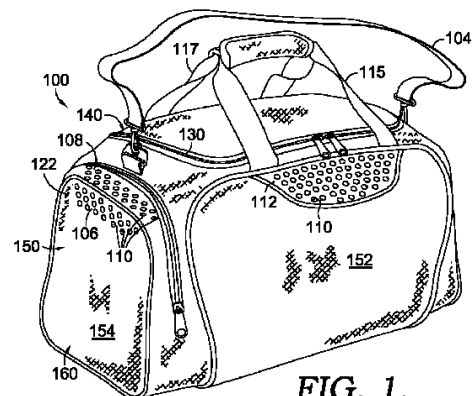


FIG. 1.

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物品を運ぶための、通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、
該スポーツバッグは、

- ・撥水コーティングされた材料からなる底部と、
- ・該底部と同様に撥水コーティングされた材料からなり、リアウォール、フロントウォールおよび 2 枚のサイドウォールを具える中間部分と、
- ・前記中間部分の生地材料の少なくとも 1 つのセグメント全体にわたって設けられた複数の穿孔であって、該穿孔を有する生地材料の構造的一体性を維持しつつも、前記スポーツバッグの内部および外部間の 2 方向の通気を可能にする穿孔と、
- ・前記底部と同様の材料からなる頂部であって、前記スポーツバッグの内部空間へのアクセスを可能にする閉口可能な開口部を具える頂部と、
- ・該頂部上に延在する少なくとも 2 つのキャリーハンドルと、を具えるスポーツバッグ

10

【請求項 2】

請求項 1 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記コーティングされた材料がポリエステル材料を含むスポーツバッグ。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記ポリエステル材料が 600 d ポリエステルを含むスポーツバッグ。

20

【請求項 4】

請求項 1 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記穿孔が円形状であるスポーツバッグ。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記穿孔が非円形状であるスポーツバッグ。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記中間部分の前記穿孔が設けられたセグメントに適用される補強材をさらに具えるスポーツバッグ。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記中間部分の前記穿孔が設けられたセグメントに適用される前記補強材が、スクリーン印刷法で塗布されるエラストマを含むスポーツバッグ。

30

【請求項 8】

請求項 6 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記中間部分の前記穿孔が設けられたセグメントに適用される前記補強材が、熱可塑性ポリウレタン樹脂 (TPU) であるスポーツバッグ。

【請求項 9】

物品を運ぶための、通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、
該スポーツバッグは、

40

- ・補強材を含む柔軟性のあるシート材料からなる底部と、
- ・柔軟性のあるシート材料からなり、リアウォール、フロントウォールおよび 2 枚のサイドウォールを具える中間部分と、
- ・前記中間部分の柔軟性のあるシート材料内に、前記底部と同様の補強材をさらに含むセグメントと、
- ・前記中間部分の前記補強されたセグメント全体にわたって設けられた複数の穿孔であって、該穿孔を有する生地材料の構造的一体性を維持しつつも、前記スポーツバッグの内部および外部間の 2 方向の通気を可能とする穿孔と、
- ・前記中間部分と同様の柔軟性のあるシート材料からなる頂部であって、前記スポーツバッグの内部空間へのアクセスを可能にする閉口可能な開口部をさらに具える頂部と、を

50

具え、前記内部空間が前記底部、前記中間部分および前記頂部により画定されるスポーツバッグ。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記穿孔が円形状または非円形状であり、模様を作るよう配置されているスポーツバッグ。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記底部に適用される前記補強材、および前記中間部分の補強された前記セグメントが、穿孔に先立ちスクリーン印刷法で塗布されたエラストマを具えるスポーツバッグ。

【請求項 12】

請求項 9 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記底部に適用される前記補強材、および前記中間部分の補強された前記セグメントが、熱可塑性ポリウレタン樹脂 (TPU) を具えるスポーツバッグ。

【請求項 13】

物品を運ぶための、通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記スポーツバッグは、

- ・柔軟性のあるシート材料からなる底部と、

- ・リアウォール、フロントウォールおよび 2 枚のサイドウォールを具える中間部分であって、該中間部分の少なくとも 1 つのセグメント全体にわたって補強材をさらに具え、且つ該中間部分の補強された前記セグメント全体にわたって設けられた複数の穿孔を有し、該穿孔によって、前記穿孔を有するシート材料の構造的一体性を維持しつつも、前記スポーツバッグの内部および外部間の 2 方向の通気を可能にする中間部分と、

- ・前記ポータブルなスポーツバッグの内部空間へのアクセスを可能にする、閉口可能な開口部を具える頂部であって、該頂部の少なくとも 1 つのセグメント全体にわたって設けられた複数の穿孔をさらに具え、該複数の穿孔によって、前記穿孔を有するシート材料の前記構造的一体性を維持しつつも、前記スポーツバッグの前記内部および前記外部間の 2 方向の通気を可能にする頂部と、

- ・該頂部上に延在する少なくとも 1 つのキャリーハンドルと、を具え、前記内部空間が前記底部、前記中間部および前記頂部により画定されるスポーツバッグ。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記穿孔が円形状であるスポーツバッグ。

【請求項 15】

請求項 13 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記穿孔が非円形状であるスポーツバッグ。

【請求項 16】

請求項 13 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記穿孔が模様を作るよう配置されているスポーツバッグ。

【請求項 17】

請求項 13 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記中間部分の、柔軟性のある前記シート材料内のセグメントに適用される前記補強材が、スクリーン印刷法で塗布されたエラストマを具えるスポーツバッグ。

【請求項 18】

請求項 13 に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記中間部分の柔軟性のある前記シート材料内のセグメントに適用される補強材が、熱可塑性ポリウレタン樹脂 (TPU) であるスポーツバッグ。

【請求項 19】

物品を運ぶための、通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記スポーツバッグは、

- ・柔軟性のあるシート材料からなる底部と、

10

20

30

40

50

- ・当該底部の周囲に沿って縫製され、該底部に接合された本体部であって、該本体部のセグメント全体にわたって設けられた複数の穿孔を有し、該複数の穿孔によって、該穿孔が設けられたシート材料の構造的な一体性を維持しつつも、前記スポーツバッグの内部および外部間の2方向の通気を可能にする本体部と、
- ・該本体部の、前記底部とは反対側のエッジによって画定される閉口可能な開口部と、
- ・少なくとも1本の連続するストラップと、を具えるスポーツバッグ。

【請求項20】

請求項19に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記本体部がフロントウォールおよびバックウォールを具え、前記フロントウォールおよびバックウォールが、該フロントウォールおよび該バックウォールの両端に位置する側部の合わせ目で接合されたスポーツバッグ。

10

【請求項21】

請求項19に記載の通気性のあるポータブルなスポーツバッグであって、前記本体部が、連続的な筒状のシート材料であるスポーツバッグ。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この発明は、一般に、スポーツバッグに関する。より具体的には、バッグ内を十分に通気して悪臭の発生を防ぐ、通気性が良好なスポーツバッグに関する。

【背景技術】

20

【0002】

スポーツバッグは、道具を運ぶのに大変機能的でありかつ魅力的な外観を有するため、種々のスポーツ選手の間で非常に人気がある。スポーツ器具やスポーツウェアは、多くの場合、汗またはスポーツによっては泥のような他の環境要素によって汚れる。汚れた器具を一般的な通気孔のないバッグの中に封入すると、悪臭が生じる場合がある。当該技術分野では、バッグの様々な位置にメッシュを配置することによってバッグの内部区画における通気を可能にする、という付加的な利点を有する見た目にも魅力的なバッグを生産し、もって通気性に優れたスポーツバッグを提供することを試みてきた。しかしながら、残念なことに、メッシュ部分は多くの場合デリケートであり、破けてしまう傾向にある。

【発明の概要】

30

【発明が解決しようとする課題】**【0003】**

この発明の概要は、以下の「発明を実施するための形態」にてさらに説明される概念の選択を、簡略化した形式で説明するものである。この「発明の概要」は、クレームされる主題の主要な特徴または本質的な特徴を特定することや、特許が請求される主題の範囲を決定する際の補助となることを意図していない。

【0004】

本発明の実施例は、通気性に優れ、丈夫で耐久性のある、スポーツ器具を運ぶためのスポーツバッグと、かようなスポーツバッグ、ダッフルバッグ、バックパック、旅行用バッグおよび物品を運ぶための他のコンテナ型バッグの製造方法と、に関する。

40

【0005】

本発明のスポーツバッグは、ファブリック素材のような織物材料や、ポリエステルのような合成繊維素材、および／または、コットンのような天然素材といった織布からなるシート材料から作ることができる。さらに、シート材料は、皮革素材、合成皮革素材、例えば、ゴム、リノリウム、プラスチックのような押出成型によるシート材料、または屈曲可能でありかつシート状に製造可能な任意の他の材料を含むことができる。

【0006】

一例において、本発明のスポーツバッグは、内部と、外装と、撥水性材料を有する底部と、該底部と同様の撥水性材料からなるリアウォール、フロントウォールおよび2枚のサイドウォールを具える中間部分であって、中間部分の生地材料の少なくとも1つのセグメ

50

ント全体にわたって設けられた複数の穿孔を有し、該穿孔を有する生地材料の構造的一体性を維持しつつも、スポーツバッグの内部および外部間の２方向の通気が可能である中間部分と、底部と同様の撥水性材料からなる頂部であって、スポーツバッグの内部空間へのアクセスを可能にする閉口可能な開口部を具える頂部と、該頂部上に延在する少なくとも２つのキャリーハンドルまたはストラップと、を具える。本発明に係るバッグの製造に用いられる撥水性材料は、例えば、耐久性撥水（DWR）または他の処理が施されたテキスタイルを含むことができる。

【０００７】

本発明の他の例では、本発明のスポーツバッグの中間部分における、穿孔を有する撥水性コーティング材料を、穿孔を形成するに先立ち補強することができる。例えば、中間部分は、限定されないが、シリコンベースのエラストマのようなエラストマ材料で生地をスクリーン印刷することによって補強することができる。代替的におよび／または付加的に、TPU（熱可塑性ポリウレタン）のようなポリウレタンエラストマをバッグの中間部分に適用することができる。かかる補強プロセスにより、バッグの強度および耐久性が増す。

10

【０００８】

本発明のスポーツバッグの他の例において、底部の撥水性コーティング材料は、上記の中間部分と同様の方法で補強できる。バッグの底部の摩耗や損傷は、スポーツバッグの使用法、すなわち、通常、セメント床などの摩擦の高い表面上に投げられたり置かれたりして使用される性質上避けられない。バッグの底部の補強もまた、スポーツバッグの寿命を延長するのに有利である。

20

【０００９】

さらに、本発明のスポーツバッグの他の例において、スポーツバッグの製造に用いられる、全体が撥水コーティングされた材料は、ポリウレタン、シリコンベースのエラストマ、スチレン、コポリエステル、ポリアミド、ポリオレフィンプレンド、ポリオレフィン合金等のエラストマ材料を用いて補強することができる。これらのエラストマは、スクリーン印刷、熱エネルギーまたは超音波エネルギーを使用した接着、および／または、上記材料を織物、皮革、合成皮革等のシート材料に利用するための当技術分野で利用可能な任意の他の方法によって適用することができる。補強に用いる材料、および／または、補強材料を適用する方法は、本発明に係るスポーツバッグの、補強部分の形成に用いられる種々の材料に応じて様々とするすることができる。

30

【００１０】

さらに他の例において、本発明のスポーツバッグは、底部と、穿孔を有する補強された柔軟性のあるシート材料からなるリアウォール、フロントウォールおよび２枚のサイドウォールからなる中間部分と、穿孔を有し柔軟性のあるシート材料からなる頂部と、によって画定される内部および外装を具え、柔軟性のあるシート材料の少なくとも一部の全体にわたって穿孔が設けられている。穿孔のサイズ、間隔および配置は、シート材料の構造的一体性を維持しつつも、スポーツバッグの内部および外部間の２方向の通気を可能にするよう選択することができる。

【００１１】

スクリーン印刷によって、本発明のスポーツバッグの製造に用いるシート材料を補強することができる。しかしながら、本発明に係るバッグの補強は、インクジェットプリントのような他の種類の印刷によっても行うことができる。この場合のインクは、スチレン、コポリエステル、ポリウレタン、ポリアミド、ポリオレフィンプレンドおよびポリオレフィン系合金のようなエラストマ材料を含むことができる。柔軟性のあるシート材料は、代替的／付加的に、該柔軟性のあるシート材料の２枚以上を、溶接、接着剤、ステッチ等によって貼り合わせることににより補強することができる。

40

【００１２】

他の例において、本発明のスポーツバッグは、その本体構成の部分に応じて、異なるシート材料を具えることができる。例えば、底部を皮革または合成皮革で作り、中間部分お

50

よび頂部をポリエステルの織物材料で作リ、キャリーストラップをプラスチック、皮革またはリノリウム材から作ることができる。他の例において、中間部分および頂部を、綿織物もしくはスパンデックスのようなストレッチ素材の織物、またはその両方で作ることができる。

【0013】

さらに他の例において、本発明のスポーツバッグは、補強または非補強シート材料からなる底部と、補強または非補強シート材料からなる中間部分であって、該中間部分の全体にわたって穿孔が設けられた中間部分と、当該中間部分と同様のまたは異なる補強もしくは非補強シート材料からなる頂部とを有し、該頂部に、閉口可能な開口部と、該頂部上に延在する少なくとも2つのキャリーハンドルを有する。

10

【0014】

さらに、本発明に係るスポーツバッグは、シート材料から形成された頂部を具え、該頂部もまた全体にわたって穿孔が設けられているが、穿孔が設けられたシート材料は、エラストマ層で補強されていても、されていなくてもよい。

【0015】

本発明に係るスポーツバッグでは、縫製、溶接および／または接着によって、またはこれらの手段もしくは他の手法を組み合わせることによって、異なる本体パーツを一体に構成することができる。バッグに用いるよう選択された柔軟性のあるシート材料に応じて、溶接、超音波溶接、または特定の種類の柔軟性のあるシート材料に利用できる他の任意の溶接手段を利用することができる。

20

【0016】

本発明によれば、丈夫で耐久性のあるスポーツバッグであって、メッシュのような脆い材料を用いずとも、スポーツバッグの内部および外部間の2方向の通気を可能にする、という利点のあるスポーツバッグが提供される。スポーツバッグそれ自体の本体材料の一部に複数の穿孔を設けることによって、本発明のスポーツバッグの内部および外部間の2方向の通気が可能となる。穿孔によって良好な通気性を確保し、および／または、スポーツバッグの強度を実質的に低減させることなく該バッグの外観に視覚的効果を付加することもできる。

【図面の簡単な説明】

【0017】

本発明を、添付の図面を参照して以下に詳細に説明する。

30

【0018】

【図1】バッグの中間部分に通気用の穿孔を有する、本発明に係る代表的なバッグの側面および正面を示す図である。

【図2】バッグの穿孔部分に補強材を有する、本発明に係る代表的なバッグの側面および正面を示す図である。

【図3】本発明のバッグの補強された底部の断面図である。

【図4】バッグの中間部分およびバッグの頂部に通気用の穿孔を有する、本発明の代表的なバッグの側面および正面を示す図である。

【図5】本発明のバッグの、補強部分および穿孔部分の断面図である。

40

【図6】本発明に係る、通気孔を有するバッグバックの側面および正面図である。

【図7】本発明に係る、通気孔を有するジムサックの正面図である。

【発明を実施するための形態】

【0019】

従来の通気孔を有するスポーツバッグでは、メッシュタイプの材料を用いてそれぞれのバッグに通気孔を設けている。残念ながら、これらのメッシュタイプの材料は脆弱で、バッグを使用してすぐに損傷する傾向にあり、かかる脆弱性がバッグの寿命を短縮している。本発明では、通気性および耐久性の双方を具えるスポーツバッグを提供する。

【0020】

図1を参照すると、本発明に係るスポーツバッグの一例が示されている。スポーツバッ

50

グ１００は、柔軟性のあるシート材料から作ることができる。任意の柔軟性のあるシート材料を、本発明に従って用いてよい。柔軟なシート材料は、本質的に、または当該材料を適切に処理することによって任意に耐水性とすることができる。例えば、６００ｄポリエステル材料のような撥水コーティングされた柔軟性のあるシート材料を用いることができ、撥水剤は、一般にＤＷＲ（耐久性撥水）と呼ばれるシリコンおよび／またはアクリル撥水剤を含んでもよい。図１の通気性のあるスポーツバッグ１００は、底部１６０、頂部１４０および中間部分１５０によって画定された内部および外装を具える。中間部分１５０は、フロントウォール１５２、２枚のサイドウォール１５４およびリアウォール（図示せず）から構成され、サイドウォール１５４は、サイドポケットを具えていても、具えていなくてもよい。中間部分１５０は、該中間部分１５０のシート材料の少なくともセグメント１１２、１０８および／または１０６の全体にわたって設けられた複数の穿孔１１０を具え、穿孔が設けられたシート材料の構造的な一体性を維持しつつも、スポーツバッグ１００の内部および外部間の２方向の通気を可能にしている。頂部１４０は、スポーツバッグ１００の内部空間へのアクセスを可能にする、閉口可能な開口部１３０、２つのキャリーハンドル１１５および１１７、並びにショルダストラップ１０４をさらに具えることができる。

10

【００２１】

図１のスポーツバッグ１００において、複数の穿孔１１０の各穿孔は円形に示され、スポーツバッグ１００のフロントウォール１５２の中心に沿って、該ウォールの上部に配置されている。しかしながら、穿孔１１０は、図１に示される例とは異なる大きさ、配置および／または構成としてもよい。

20

【００２２】

他の例において、複数の穿孔１１０に含まれる穿孔は、互いに異なる形状とすること、および／または、四角形、ハート形、星形、長方形、シェブロン形または考えられ得る他の形状を組み合わせることができる。スポーツバッグ１００に示されるような、単一形状の穿孔を均一に用いること、または（図示しないが）異なる形状の穿孔を同時に用いることもできる。また、複数の穿孔１１０は、種々の通気を提供するように、および／または、異なる視覚的効果をもたらすよう、異なるパターンに配置してもよい。

【００２３】

さらに、各穿孔１１０のサイズ、パターンおよび間隔は、スポーツバッグ１００の構造に用いられる柔軟性のあるシート材料の構造的な一体性を維持しつつも、２方向通気の最適水準を満たすよう選択することができる。例えば、穿孔１１０がフロントウォール１５２やサイドウォール１５４に比し大きすぎると、シート状材料の構造的な一体性が大幅に損なわれる。穿孔１１０が大きくなり過ぎる場合のサイズは、個々の穿孔の隣接具合、スポーツバッグ１００内に入れることが予期される物、ウォール１５２および１５４に用いられる材料の種類、ウォール１５２および１５４に提供される補強材等によって決まる。一方で、穿孔１１０が小さすぎると、２方向の通気が損なわれる可能性がある。どのくらいの通気が必要で、必要な通気を得るにはどのくらいの大きさの穿孔とすることができるのか、ということは、バッグの使用目的および／または使用内容による。穿孔１１０が互いに隣接しすぎると、織物材料またはシート材料が破けることがあり、穿孔１１０が離間しすぎていると、最適レベルの通気を得るのに必要な穿孔１１０が足りないことがある。

30

40

【００２４】

本発明の他の例では、スポーツバッグが穿孔を有するフロントウォール２１４およびサイドウォール２０８および／または２０６を具え、複数の穿孔２１０が設けられたセグメント２１４に、補強層をさらに具えることができる。補強層とは、熱可塑性ポリエチレン（ＴＰＵ）のような薄層であり、図２に示すように、穿孔を設けるに先だって設けることができる。図２に示すスポーツバッグ２００は、柔軟なシート材料からなる底部２６０、中間部分２５０および頂部２４０を具える。中間部分２５０は、リアウォール（図示せず）、フロントウォール２５２および２つのサイドウォール２５４を具えることができる。このスポーツバッグは、サイドウォール２５４のセグメント２０８および／または２０６

50

に穿孔 210 をさらに具えることができる。穿孔が設けられたセグメント 208 および／または 206 は、穿孔が設けられ且つ補強されたセグメント 214 のように、補強層を具えていても、具えていなくてもよい。中間部分 250 は、補強され、穿孔が設けられた、柔軟性のあるシート材料であって、該補強有孔シート材料の少なくとも 1 つのセグメント 214 全体にわたって複数の穿孔 210 を有するシート材料をさらに具える。穿孔 210 によって、補強され、穿孔が設けられたシート材料の構造的な一体性を維持しつつも、スポーツバッグ 200 の内部および外部間の 2 方向の通気が可能となる。頂部 240 を、底部 260 と同様のシート材料から作ることもできる。頂部 240 は、スポーツバッグ 200 の内部空間へのアクセスを可能にする閉口可能な開口部 230 をさらに具える。スポーツバッグ 200 は、少なくとも 2 つのハンドル 215 および 217 と、本発明のスポーツバッグの頂部 240 上に延在するショルダストラップ 204 と、をさらに具えることもできる。

【0025】

図 3 は、スポーツバッグ 200 のフロントウォール 252 の、複数の穿孔 210 が配置されたセグメント 214 の断面を拡大して示している。シート材料 310 に、切断された穿孔 210 を有する補強層 320 が付着している。

【0026】

図 4 は、本発明のスポーツバッグ 400 のさらに他の代表例の斜視図である。図 4 において、本発明のスポーツバッグ 400 は、柔軟なシート材料からなる底部 460 と、中間部分 450 と、頂部 440 と、によって画定される内部空間および外装を具える。中間部分 450 は、リアウォール（図示せず）、フロントウォール 452 および 2 枚のサイドウォール 454 から構成される。中間部分は、補強され、穿孔が設けられた、柔軟性のある補強有孔シート材料をさらに具え、該シート材料の少なくともセグメント 412、408 および／または 406 の全体にわたって複数の穿孔が設けられている、穿孔によって、補強され、穿孔が設けられたシート材料の構造的な一体性を維持しつつも、スポーツバッグ 400 の内部および外部間の通気が可能となる。頂部 440 もまた、第 2 の複数の穿孔 470 を有する柔軟なシート材料からなる。第 2 の複数の穿孔 470 は、柔軟なシート材料の少なくともセグメント 471 の全体にわたって形成することができる。さらに、図 4 に記載されるスポーツバッグ 400 は、当該ポータブルなスポーツバッグ 400 の内部空間へのアクセスを可能にする、閉口可能な開口部 430 を有することができる。スポーツバッグ 400 は、本発明のスポーツバッグ 400 の頂部 440 上に延在する、2 本のキャリーハンドル 415 および 417 やショルダストラップ 404 もまた具えることができる。

【0027】

他の例において、図 4 のスポーツバッグは、補強された柔軟なシート材料からなる底部 460 を具えることができる。底部は、前述したごとく TPU の薄膜のようなエラストマ材料を適用することによって補強可能であり、図 5 に示すような補強された、穿孔を有するシート材料となる。

【0028】

図 5 は、図 4 に示したスポーツバッグ 400 の底部 460 の断面を示している。柔軟なシート材料 510 は、補強層 520 によって強度を増すことができる。

当該実施例における補強されたシート材料は、バッグの底部に用いることができるが、この補強された織物材料を、本発明のスポーツバッグ 400 の本体部全体に用いることもできる。

【0029】

図 6 は、異なる種類のバッグの一例、すなわちバックパック 600 であり、通気用の穿孔が、該バックパック 600 の内部および外部間に 2 方向の通気をもたらしよう用いられている。図 6 に示されるバックパック 600 は、底部 610 と、中間部分 620 と、閉口可能な単一または複数の開口部 650 を有する頂部 630 と、を具えている。バックパック 600 は、図示される中間部分 620 のフロントウォール 670 の、少なくともセグメント 640 の全体にわたって、または中間部分 620 の背部（図示せず）もしくは中間部

分 6 2 0 の側部 6 8 0 に、複数の穿孔 6 4 5 をさらに具えることができる。また、バックパック 6 0 0 は、1 本または 2 本のキャリーストラップ 6 6 0 を具えることができる。選択的に、底部および穿孔が設けられたセグメントのような、高い応力のかかる領域を前述のごとく補強することができる。

【0030】

図 7 は、本発明に係る他のスポーツバッグの追加の例である。図 7 に示すバッグは、フロントウォール 7 1 0 と、バックウォール（図示せず）を具えるジムサック 7 0 0 である。付加的に、ジムサック 7 0 0 は、補強されていなくてもよい底部 7 3 0 や、該ジムサック 7 0 0 のメインコンパートメントにアクセスするための開口を閉じるのにも役立つ、キャリーストラップ 7 2 0 を具えることができる。選択的に、ジムサック 7 0 0 は、ジッパー付きポケット 7 5 0 を具えて、付加的な収納を設けることもできる。本発明に係るジムサック 7 0 0 は、（図示するように）フロントウォール 7 1 0 の少なくともセグメント 7 4 0 全体にわたって設けられた、複数の穿孔 7 4 5 を具えることができる。複数の穿孔 7 4 5 は、バックウォール（図示せず）の、またはフロントウォール 7 1 0 とバックウォールの両方の、少なくとも 1 つのセグメント全体にわたって設けることもできる。前述の例のように、穿孔が設けられたセグメント 7 4 0 および底部 7 3 0 は、さらに補強材を含むことができる。

10

【0031】

さらに、ジムサック 7 0 0 は、底部 7 3 0 と、フロントウォール 7 1 0 と、バックウォールとから形成され、該フロントウォール 7 1 0 とバックウォールは、これらの両端に位置する側部の合せ目で合わされ、底部 7 3 0 の周囲に接合されている。または代替的に、ジムサック 7 0 0 は、柔軟なシート材料を筒状にして形成することができ、底部 7 3 0 の周囲にのみ継ぎ目を有して（すなわち、ウォール部分に継ぎ目を有しない）、柔軟なシート材料の筒状のピースの下端と底部とを接合する。

20

【0032】

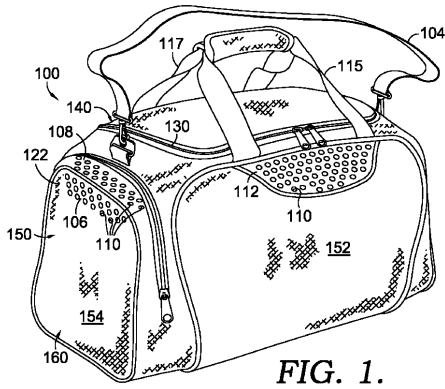
本発明を特定の実施例を参照しながら説明してきたが、すべての点において、本発明を制限するというより例示することを意図している。本発明の範囲を逸脱することなく、本発明を別の用途に用いることができる。

【0033】

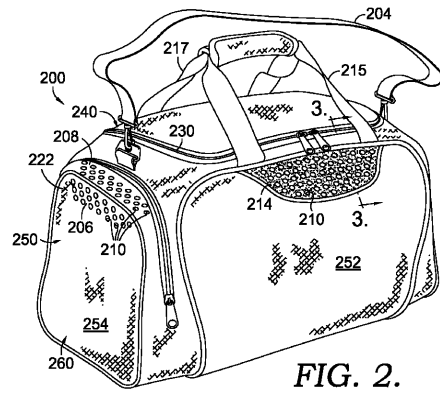
以上より、本発明は上記目標および目的を達成するよう適合されたものであり、当該システムおよび方法に自明かつ固有である他の利点も有する。本発明の特定の特徴およびサブコンビネーションが有用なものであり、他の特徴およびサブコンビネーションを参照することなく採用することができることは、言うまでもない。これは特許請求の範囲の意図するところであり、かつ技術的範囲に含まれるものである。

30

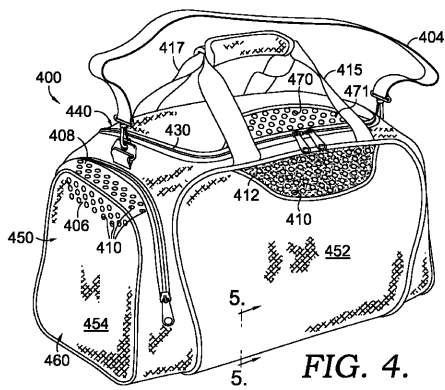
【図 1】



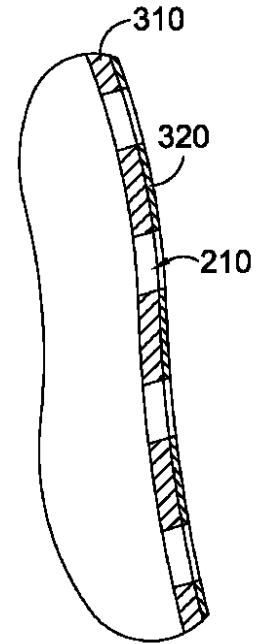
【図 2】



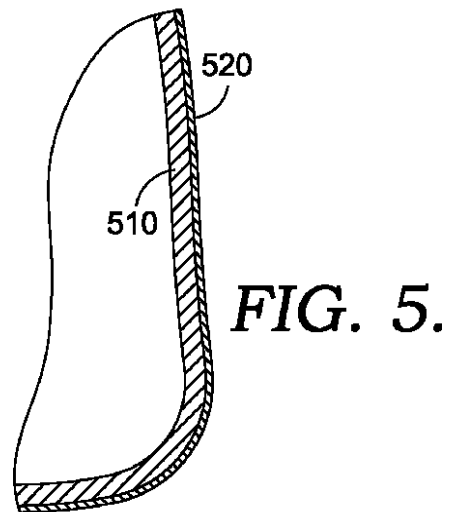
【図 4】



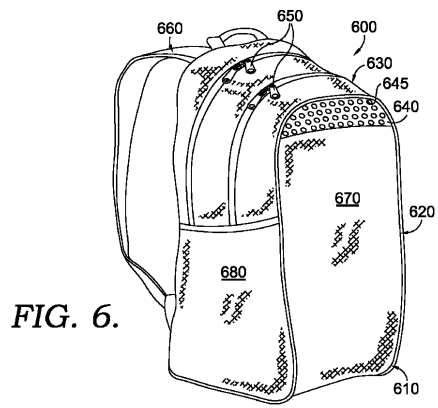
【図 3】



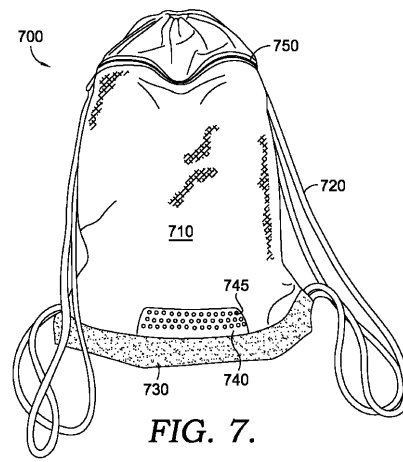
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/US2013/043672

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC(8) - A45C 3/00; B65D 33/01 (2013.01) USPC - 383/100 According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC(8) - A45C 3/00, 7/00; A45F 3/04; B65D 33/06, 33/00, 33/01, 33/16 (2013.01) USPC - 119/497, 500; 150/100; 190/107, 109, 111, 112, 115; 206/286; 224/638; 383/41, 100, 102, 103, 117 Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched CPC - A45C 3/00, 3/10, 7/00, 7/0059; A45F 3/02, 3/04; B65D 33/00, 33/01 (2013.01) Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) PatBase, Google Patents, Google, YouTube		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X — Y	US 5,170,745 A (BURDETTE JR) 15 December 1992 (15.12.1992) entire document	1-3, 5, 6, 13, 15, 16 4, 7-12, 14, 17, 18
X — Y	US 2,392,034 A (ELLIS et al) 01 January 1946 (01.01.1946) entire document	19, 21 20
Y	US 2011/0311166 A1 (PASCUA) 22 December 2011 (22.12.2011) entire document	4, 9-12, 14
Y	US 2011/0097571 A1 (TEE et al) 28 April 2011 (28.04.2011) entire document	7, 8, 11, 12, 17, 18
Y	US 2,761,480 A (TAMES) 04 September 1956 (04.09.1956) entire document	20
A	US 6,386,414 B1 (KILDUFF) 14 May 2002 (14.05.2002) entire document	1-21
A	US 6,852,145 B2 (VALDEZ) 25 November 2003 (25.11.2003) entire document	1-21
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 08 October 2013		Date of mailing of the international search report 22 OCT 2013
Name and mailing address of the ISA/US Mail Stop PCT, Attn: ISA/US, Commissioner for Patents P.O. Box 1450, Alexandria, Virginia 22313-1450 Facsimile No. 571-273-3201		Authorized officer: Blaine R. Copenheaver PCT Helpdesk: 571-272-1300 PCT OSP: 571-272-7774

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, UZ, VC, VN

(72)発明者 フラグ ナサニアン

アメリカ合衆国 オレゴン州 97005-6453 ビーバートン ワン バウワーマン ドライブ ナイキ インコーポレーテッド内

Fターム(参考) 3B045 AA51 CE05 DA01 EA02